

久保田顕二名誉教授記念号の刊行にあたって

学長 穴 沢 眞

この度、久保田顕二名誉教授記念号が刊行されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

久保田顕二名誉教授は1979年に筑波大学第一学群人文学類をご卒業され、その後、東京大学大学院人文科学研究科に進まれ、1987年に同研究科を満期退学されました。そして、首都圏で教授経験を積まれたのち1994年4月に助教授として本学に赴任され、1999年10月に教授に昇任されました。さらに、2018年3月に退職された後も特任教授として2020年3月まで本学の教育研究にご尽力頂き、およそ四半世紀にわたり本学の発展に多大なご貢献を頂きました。

先生のご専門は哲学、倫理学の幅広い分野に及びます。ヒュームやJ.S.ミルなど我々にも馴染みのある哲学者の研究から、安楽死や生命、環境などのテーマにも取り組んでおられ、それらの研究成果は多数の著書や論文として公刊されています。

学部教育において先生は「哲学」、「倫理学」の講義を持たれ、そのほかにも「人間と文化論」、「現代哲学論」や基礎ゼミナール、さらには研究指導もご担当されました。研究指導を受けた学生の数は18名に及びます。また、学部のみならず大学院においても「人文・社会科学特講」を担当されました。

多くの学生が大学での教養を身に着ける際の第一歩として哲学や倫理学の素養を先生の授業から学びました。久保田先生はとかく難解だと思われがちな哲学、倫理学といった科目を初学者でも理解できるよう工夫をされておられました。哲学や倫理学は「考え方の枠組」そのものを問題とすることや、「論理」の重要性、そして哲学を通じて抽象的な思考力を鍛えるという知的

な訓練が実学を学ぶ際にも役に立つことを説かれていました。

学内行政においても2004年から1年間、そして2017年から1年間の二度にわたり一般教育系学科主任を務められ、一般教育系のまとめ役としてその重責を担われました。それ以外にも多くの重要な委員会の委員を歴任され、本学の運営にも多くの足跡を残されました。

残念ながら、教授としては本学をご退任されますが、今後とも名誉教授として本学へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、先生の一層のご活躍を祈念しております。